

数学

神戸大学 [理系] (前期)

<全体分析>

試験時間	120 分	解答問題数	5 題
------	-------	-------	-----

解答形式
記述式

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)

難易 (易化・**やや易化**・変化なし・やや難化・難化)

出題の特徴や昨年との変更点

最近は数学Ⅲから2題以上出題されることが多いが、今年は1題だけであった。

その他トピックス

今年は文系とほぼ同じ内容の問題が1題出題された。(**2**)

理系の **3** と 2023 年度 (2022 年実施) 神大入試オープンがズバリ的中した。

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
1	数列	数学B	数学的帰納法、2項間漸化式。	標準
2	2次方程式	数学I 数学II	2次方程式の解の配置。解の実部の条件。領域の図示。	標準
3	確率	数学A 数学B	カードの数の和に関する確率。	標準
4	空間のベクトル	数学B	四面体の体積。	標準
5	微分法・積分法	数学Ⅲ	媒介変数表示された曲線の図示と面積。	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

今年は1題だけの出題であったが、例年数学Ⅲの分野からは少なくとも2題は出題されるため十分に対策しておきたい。数学Ⅲ以外では場合の数・確率、数列、整数、ベクトルなどがよく出題されており、注意したい。

融合問題や目新しい問題も出題されることが多いため、実践的な演習で思考力を強化したい。